

1

や だ い し ん ぬ ま
矢 太 神 沼

(矢太神水源) 新田大根町



新田の荘遺跡「矢太神水源」として国指定の史跡となっています。

平地ではめずらしい一級河川（石田川）の水源で、自噴が観察できる新田地域の代表的な湧水です。

また湧水時には、大根神社に伝わる雨乞いの神事にまつわる御輿が沼に投入されるなど人々の生活と湧水が密接に結びついています。

海苔の原料と同類のニホンカワモズクの生息地となっており、過去の海の名残があります。



<矢太神水源自噴状況>



2

せ ん ご ろ う い け
千 五 郎 池

新田大根町

矢太神沼の東に位置し、常時湧出しています。江戸期の代官「本間千五郎」が湧水を開削し、上江田北部に広がる東田に水を引いた歴史があります。現在では、ほたるの里公園の中に整備されています。





石祠は護岸の北西角
におかれています。中
の一基に「弁財天文政七年
(1824) 甲申天四月吉
日 茂木氏」と銘文が刻
み込まれており、江戸時
代後期、水の神を崇（あ
が）め地元の人が祀った
ものと見られています。

新田荘遺跡「重殿水源」として国指定の史跡となっ
ています。玉石積みで2段構造になっています。近年
湧出量は減少しています。北西の隅に3基の石の祠
(ジュウドノ様と呼称)が残っています。中世鎌倉時
代の豪族、大館氏と岩松氏がこの湧水を巡って論争を
起こした文献が残っています。

一級河川大川の水源になっています。

